

『広島県病院事業経営計画（平成26年度～28年度）』の取組状況 に係る広島県病院経営外部評価委員会の評価報告書 【平成28年度の評価】

平成29年12月19日
広島県病院経営外部評価委員会
委員長 谷田 一久

1 広島県病院経営外部評価委員会

広島県病院経営外部評価委員会は、「広島県病院事業経営計画（以下「経営計画」という。）」の取組状況に係る点検・評価等を行う外部組織として平成22年5月に設置され、今年度は8年目になります。本委員会は医療、公立病院運営、経営等に精通した各分野の専門家が委員として構成され、公正に、しかも専門的な観点から広島県病院事業を評価しようとするものです。

平成28年度の経営計画の取組状況について、今年度は2回（8月、11月）にかけて議論し、次のとおり取りまとめましたので、ここに報告いたします。

2 評価結果の総括

平成28年度は、平成26年3月に策定した「第5次経営計画」の最終年度に当たります。

第5次経営計画では、「医療機能の強化と患者サービスの向上」、「人材育成・確保・派遣機能の強化」、「危機管理対応力と経営力の強化」を取組方針としており、これに対応すべく、多岐にわたって詳細な具体的取組項目とそれらを評価するための目標指標が設定されました。

県立広島病院は、広島県全域を視野に入れた基幹病院として、救急医療、成育医療、がん医療の領域を中心に、高度、専門、特殊な機能を発揮することに加え、県下で活躍する医療人材の育成を図り、不足地域への派遣を行っています。また、災害医療にも貢献するなど、広域を対象として公共性を発揮しつつ、経済性を高めるために取り組まれていることを高く評価しました。

安芸津病院は、高齢化・人口減少の進展する地域にあつて、病気の予防から治療、在宅復帰に至るまで、地域と一体となって地域住民の健康を支える取組を進めており、その様々な取組が地域包括ケアシステムの拠点病院のモデルを開発するという点で、県立病院のあり方に即しているものとして高く評価しました。

様々な公共性の高い取り組みを実行しながらも、事業全体の収支面においては、2億9,900万円余の経常利益を計上する結果となった点を高く評価します。ただし、大きな環境変化が想定されている現況において、県立病院らしさと税の投入とその費消については、これまで以上に説明する力をつけていただきたいという点を付記します。

3 評価結果

(1) 評価基準と評価方法

経営計画に基づき平成28年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行いました。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり概ね順調である。	計画の達成に向けた、具体的成果がある。又は目標を達成した。
○	ほぼ順調である。	計画に対して具体的に取組んでおり、一定の成果が認められる。
△	やや遅れている。	計画に対する取組はあるものの、まだ成果に現れていない。取組が不十分。
×	かなり遅れている。	計画に対して取組が行われているとは言えない。消極的。

(2) 各病院の評価結果

①- 1 県立広島病院の評価

経営計画に係る取組状況については、平成 28 年度は 13 項目の取組のうち、『◎（計画どおり概ね順調である。）』と評価した項目は 5 項目となり、昨年度より 1 項目減りました。

経営計画において重点取組項目として設定した救急医療、成育医療、がん医療機能の強化については、救急患者受入体制の強化や NICU・GCU 受入患者増加への対応、がんの集学的・先進的治療への取組など、広島県の基幹病院として中核的な役割を果たしていると認められます。また、TQM 活動の取組など、医療安全や質の改善に積極的に取り組んでいることを高く評価します。

一方で、患者満足度は職員全体での取り組みの結果、改善が認められます。引き続き高い満足度が維持されることを期待します。また、収支は黒字とはいえ、経営力の強化や費用合理化対策など、経営面を中心に課題を残している点を指摘します。

全体としては、目標指標 11 項目のうち 8 項目が目標を達成し、損益面においても 8 年連続の経常黒字を達成するなど、総合的には高く評価すべきとの判断に至りました。

また、それと並行して、県民や県下の医療施設等に対して、“広島県立病院らしさ”を示すための方法について工夫がなされることを期待します。

なお、取組方針ごとの委員会評価意見は別紙「評価表」に記載のとおりです。

①- 2 評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H28 ()はH27
評価結果『◎』とした項目	5 項目 (6)
評価結果『○』とした項目	8 項目 (7)
評価結果『△』とした項目	0 項目 (0)
評価結果『×』とした項目	0 項目 (0)
合計	13 項目 (13)

イ 取組方針ごとの評価

番号	取組方針	自己 評価	委員会評価 ()はH27
1 医療機能の強化と患者サービスの向上			
1	救急医療機能の強化	○	◎(◎)
2	成育医療機能の強化	◎	◎(◎)
3	がん医療機能の強化	○	○(◎)
4	地域医療への貢献	○	○(○)
5	医療の安全と質の向上	○	◎(◎)
6	患者サービスの向上	◎	○(○)
2 人材育成・確保・派遣機能の強化			
7	医療人材の育成・確保・派遣	◎	◎(◎)
3 患者サービスの向上と経営の効率化			
8	危機管理対応力の強化	◎	◎(◎)
9	経営力の強化	○	○(○)
10	増収対策	○	○(○)
11	費用合理化対策	○	○(○)
4 連携強化			
12	2 病院の協力状況	○	○(○)
5 決算、目標指標			
13	収支改善、目標指標	○	○(○)
総合評価			◎(○)

②-1 県立安芸津病院の評価

経営計画に係る取組状況については、平成 28 年度は 10 項目の取組のうち、『◎（計画どおり概ね順調である。）』と評価した項目は、昨年度から 1 項目増加し、1 項目となりました。

限られた医療資源の中で、地域包括ケアシステムの拠点病院のモデル病院となるべく、所在地域のケアマネジャーとの定期会合の立ち上げ、地域の歯科医院との連携、訪問看護やリハビリを中心とした在宅支援など、様々な取組が行われている点を高く評価します。

一方で、経常収支の黒字化を達成することができていません。地域ニーズを捉えた高稼働の地域包括ケア病床など、病床稼働が顕著に改善し、収支の改善が進んだものの、費用合理化対策はいまだ十分とはいえないものと判断します。

目標指標全体については、未達成項目について、地域の状況変化や制度の行方を考慮しながら、項目や目標数値などを調整して、達成のための努力を続けていただきたい。

高齢化が進み、人口も減少している地域のモデルの構築という県立病院として役割を果たすべく、経営がなされたものとして、総合的には高い評価とします。今後の経営におきましても、地域の実状に合う形での機能変革とそれに応じた収支の健全化に努めることを期待します。

なお、取組方針ごとの委員会評価意見は別紙「評価表」に記載のとおりです。

②-2 評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H28 ()はH27
評価結果『◎』とした項目	1 項目 (0)
評価結果『○』とした項目	7 項目 (7)
評価結果『△』とした項目	2 項目 (3)
評価結果『×』とした項目	0 項目 (0)
合計	10 項目 (10)

イ 取組方針ごとの評価

番号	取組方針	自己 評価	委員会評価 ()はH27
1 医療機能の強化と患者サービスの向上			
1	医療提供体制の強化	○	◎(○)
2	医療の安全と質の向上	○	○(○)
3	患者サービスの向上	○	○(○)
2 人材育成・確保・派遣機能の強化			
4	医療人材の育成・確保・派遣	○	○(○)
3 危機管理対応力と経営力の強化			
5	危機管理対応力の強化	○	○(○)
6	経営力の強化	○	○(○)
7	増収対策	○	○(△)
8	費用合理化対策	△	△(△)
4 連携強化			
9	2 病院の協力状況	○	○(○)
5 決算、目標指標			
10	収支改善、目標指標	△	△(△)
総合評価			○(○)

広島県病院経営外部評価委員会 委員一覧

(敬称略)

区分	氏名	備考(職名等)
委員長	谷田 一久	(株)ホスピタルマネジメント研究所 代表取締役
副委員長	木原 康樹	広島大学副学長(研究倫理担当)・教授
委員	塩谷 泰一	高松市病院事業管理者
委員	檜谷 義美	(一社)広島県医師会副会長
委員	平井 敦子	(株)中国新聞社 論説委員
委員	和田 頼知	有限責任監査法人トーマツ パートナー(公認会計士)

広島県病院経営外部評価委員会 平成29年度議事一覧

○第1回〔平成29年8月10日(木) 於：広島がん高精度放射線治療センター〕

- (1) 平成28年度経営計画の取組状況について
- (2) 意見・提言等について

○第2回〔平成29年11月27日(月) 於：広島がん高精度放射線治療センター〕

- (1) 平成28年度経営計画の取組状況の評価取りまとめについて
- (2) 意見・提言等について